

施設名称	みのわ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
------	------------------	----------	------------------

1. 指定管理者の概要	
①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和61年10月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	あさくさ・やなか・うえの高齢者在宅サービスセンター
③経営状況	(20年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円, 歳出 2,433,180,998 円, 収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円, 歳出 380,680,744 円, 収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要	
①所在地	台東区三ノ輪 1-27-11
②設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
③利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
④開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
⑤規模	延べ床面積 9,617㎡のうち2,002㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など
⑥人員体制	22名（内訳）施設長(1), 事務員(1), 相談員(1), 介護職員(常6, 非11), 看護師(2)

3. 事業（サービス提供）の概要	
①委託事業	①通所介護サービス(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・栄養ケア・口腔ケア)、②介護予防通所介護サービス(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア・アクティビティ等)③ホームヘルプサービス(身体介護、生活援助、介護相談、介護予防訪問介護)(定員：一般デイ：40名、認知デイ12名)
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等										
●20年度 延利用者数	一般デイ					認知デイ				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
通所介護6～8	1,100	1,079	1,095	966	4,240	548	567	493	434	2,042
通所介護4～6	989	1,010	1,060	944	4,003	218	220	248	357	1,043
通所介護3～4	29	41	40	39	149	0	0	2	0	2
通所介護2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	549	543	524	518	2,134	0	0	0	0	0
計	2,667	2,673	2,719	2,467	10,526	766	787	743	791	3,087
利用率(%)	85.5%	84.6%	86.0%	82.2%	84.6%	81.8%	83.0%	78.4%	87.9%	82.7%

5. 予算決算の推移						
(単位：円)						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	54,139,000	41,410,000	30,259,000	7,244,000	2,114,000
	料金収入等	174,205,000	177,373,000	164,052,000	192,625,000	234,122,000
	管理経費	228,344,000	218,783,000	194,311,000	199,869,000	236,236,000
決 算	委託料	27,254,278	26,056,883	13,247,453	7,244,000	
	料金収入等	181,947,034	181,523,702	207,981,188	228,350,487	
	管理経費	193,848,195	189,035,038	183,148,991	189,066,818	
	収支	15,353,117	18,545,547	38,079,650	46,527,669	

6. 指標					
指標名称	単位	目標値(22年度)	19年度	20年度	21年度
利用率（一般デイ）	%	90.0	86.4	84.6	
利用率（認知デイ）	%	90.0	84.8	82.7	

<b>7. 評価項目</b>	3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 —：評価対象外項目
----------------	--

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.3]	(1) 施設の目的達成 [3] (2) サービス水準 [3] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [—] (8) 個人情報保護 [3] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]

<b>8. 評価</b>	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A+	各フロアーに個浴を設置することにより入浴枠が拡大し、サービス水準の向上が見られた。全体的に良好な事業運営がなされている。
②施設の維持管理	A	各保守点検、清掃等、適切に業者に委託し実施されており、委託内容の確認も確実にされている。危険箇所等も目視で確認し、利用者の安全性にも配慮している。
③利用者の満足度	A	利用率は高水準を維持しており、利用者の満足度調査においても概ね高評価を得ている。また、コンサート行事の開催により地域との交流を実施している。
④歳入歳出	A	管理経費が増えているが、介護報酬等の料金収入が増収をしており、経営努力が伺える。
⑤総合評価	A	サービス水準の向上に積極的に取り組み、良好な管理運営がなされている。

### 9. 課題への対応等

施設について設立から15年が経過しており経年劣化が進んでいるため、計画的に設備保守・保全や修繕、備品の購入を行っていく。今後も更なるサービス水準の向上に努めながら、管理経費の縮減の努力が求められる。